

人間関係づくり実践講座

7月25日（木）に「人間関係づくり実践講座」に参加してきました。この研修では、東京聖栄大学の有村久春 教授に、児童生徒同士、児童生徒と教職員間の人間関係を深めるための基本原理や活動方法を、カウンセリングの視点から学びました。以下にまとめます。

カウンセリング：全ての人により良い成長と変化を求める心があることに信頼を寄せ、生徒の考えや悩みなどをありのままに受け止め、その内面的な気持ちに共感すること。

<かかわりの3原則>

聴く

1. 受け止める : 「うんうん」「そうなんだ」「(黙ってうなづく)」
2. 共感する : 「なるほど」「そうですね」「それは…でしたね」
3. 話を促す : 「それから?」「どうなったんですか?」

質問する

1. 繰り返す : 「〇〇なんですね」「□□かあ」
2. 掘り下げる : 「どういうこと?」「もう少し詳しく教えて?」
3. 内面を問う : 「どんな気持ちだった?」「どう思った?」

伝える

1. 事実承認 : 「〇〇したんだってね」「□□してくれたね」
2. 問う→褒める : 「どうやってやったの?」→「すごいね!」
3. 一緒に喜ぶ : 「先生も嬉しいな」「先生も感動した」

聴く

①受容体験

共感する

②感情の明確化

一緒に考える

③行動化

理想自己

現実自己

現実自己

学級づくり講座

7月29日(月)には「学級づくり講座」に参加してきました。この研修では講師の曾山和彦先生(かかわりプログラムSimple代表)が関わる学校の実践を通して、温かい学級経営の方法を学びました。その内容を以下にまとめます。

